事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	1340080 __ 001

【1.基本情報】

事 業 名	ごみ焼却処理事業				
担当部名	環境部		担当課名	掛洞プラント	
実施方法	その他	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和54 年度～ 年度		根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条に基づき、市の責務である一般廃棄物(可燃ごみ)を安全かつ衛生的に焼却処理する。また、ごみ焼却余熱の有効利用を図る。
事業の内容		ごみの高温(850℃以上)燃焼、排ガス処理設備による有害ガス排出抑制などを効率的に実施し環境保全に努める。また、ごみ焼却余熱は、プラザ掛洞(温水プールと浴場)へ蒸気供給するなど有効利用している。
事業の対象	何を	一般廃棄物
	誰に	岐阜市民
	どのくらい	年間約20,000t
令和3年度(実施内容)		令和3年度は計画ごみ焼却量約19,305t(稼働日数228日)に対し、実績として焼却量20,259t(稼働日数235日)であり、計画を上回った。ごみ残量が多かったことまた、プラザ掛洞への蒸気供給の観点から稼働が増加したことによる。ダイオキシン類等有害ガス排出基準はすべてクリアし、効率的かつ安心・安全な焼却業務を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	44,200	1,300	42,250	1,300	33,592	1,040
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	5,491	528	5,531	537	7,334	712
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	949	202	946	197	994	207
計(A)	50,641	2,030	48,727	2,034	41,919	1,959

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		315,049	288,738	327,482
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	需用費	61,654	56,720	66,941
	委託料	171,891	177,240	184,117
	工事請負費	79,496	52,605	74,840
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		315,049	288,738	327,482

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	365,690	337,465	369,401

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	67	67	67
その他	900	1,148	904
計(F)	967	1,215	971

【5.収支】

市負担額一般財源(E－F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	364,723	336,250	368,430

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,970	408,109	406,407
受益者負担額（千円）	0	0	0
受益者負担率（%）	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト（円、一般財源ベース）	892	824	907

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	一般廃棄物焼却量	単位	t
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	20,290	19,600	19,305
実績値	19,714	19,478	20,259

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	検査結果の異常	単位	箇所
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 （①目的が市民・社会のニーズに合っているか） （②事業を市が担う必要があるか（民間・国・県）） ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには必要不可欠である。 東部クリーンセンターの一極集中リスクを回避し、市の責務である一般廃棄物処理を継続的かつ安定的に実施するため、必要である。
効率性 （①費用対効果） （②他に効率的な方法がないか（広域・民間活用・市民協働）） ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	平成28年10月から焼却施設運転維持管理を民間委託することにより専門的なノウハウを活用し、効率的かつ安定的に処理が行われている。 市の責務であり、他の方法への変更は困難である。
有効性 （期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か） ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
公平性 （受益者及び受益者負担は適正か） ※【2】【6】【7】から	高	安心安全のごみ処理を確保しつつ、効率的な運営を行っており、公平である。
〔総合評価〕 （現状維持・改善（統合・縮小含む。）・廃止）	現状維持	市の責務である一般廃棄物処理を継続的かつ安定的に実施するため、市が主体となって施設を運営する必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	1340080 __ 002

【1.基本情報】

事 業 名	プラザ掛洞管理				
担当部名	環境部		担当課名	掛洞プラント	
実施方法	委託(民間)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成7 年度～ 年度		根拠法令・関連計画	岐阜市余熱利用施設条例	

【2.事業概要】

事業の目的		ごみ処理問題やリサイクル問題に関心を持って頂くとともに、スポーツ・レクリエーション施設として提供し、広く市民や近隣自治体の住民に利用して頂き、健康増進や余暇活動の支援を行う。
事業の内容		掛洞プラントの焼却余熱を利用した温水プール・浴場の運営管理を行う。
事業の対象	何を	温水プール・浴場
	誰に	岐阜市民等
	どのくらい	年間236日(開館日数)
令和3年度(実施内容)		コロナ禍において長期休館を余儀なくされたが、修繕、点検業務、環境美化を強化し再開に備えた。また、営業中は感染防止対策に万全を期すとともに、利用時間に制限を設けたうえで一度に利用できる人数を許容の半数とし、できる限り多くの方に利用していただくなど、健康増進や地元貢献施設としての役割を果たした。また、2月14日から28日まで改修工事のため休館とした。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員(旧嘱託)	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員(臨時雇用員)	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		56,132	73,823	75,913
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	指定管理料	46,476	49,848	58,156
	工事費	7,053	17,303	17,275
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		26,815	26,815	26,815
計(D)=B+C		82,947	100,638	102,728

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	82,947	100,638	102,728

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	46	46	22
その他			
計(F)	46	46	22

【5.収支】

市負担額一般財源(E－F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	82,901	100,592	102,706

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	スポーツ、レクリエーション施設を利用し健康増進・余暇活動に関心のある人	スポーツ、レクリエーション施設を利用し健康増進・余暇活動に関心のある人	スポーツ、レクリエーション施設を利用し健康増進・余暇活動に関心のある人
受益者数	77,210	28,656	36,064
受益者負担額(千円)	20,381	7,624	8,526
受益者負担率(%)	24.6%	7.6%	8.3%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	1,074	3,510	2,848

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	利用者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	90,000	90,000	90,000
実績値	77,210	28,656	36,064

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用料金	単位	千円
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	27,500	27,500	27,500
実績値	20,381	7,624	8,526
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	ごみ焼却余熱を利用しており、環境問題への取組を啓発している。また、健康増進施設であり、へき地にもかかわらず多くの利用がある。
		掛洞プラント建設時、地元要望対応として建設された施設であるため必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウを活用しているため効率的である。
		—
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	利用料金制度を取り入れた指定管理者制度を導入して安定的な運営管理が行われている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	指定管理者制度と利用料金制度により適正に運用されている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	ごみ焼却余熱を利用しており、環境問題への取組を啓発している。また、掛洞プラント建設時、地元要望対応として建設された施設であるため、現状維持とする。